



議 会

によどがわ

だより

2009.5
第15号

別府小が複式に
戦後のベビーブームから60年。過疎化は進み、
別府小もついに、2・3年生が複式に



防災無線を放送する時に気を付けていることは？
ゆっくり読むように、言葉をはっきりと発音するように。
総務課 主幹 山中貴子



わたし、防災仁淀川町です

三月定例会

「定額給付金」直接現金で…2P

手狭な保健福祉課…8P

「カーボンオフセット」実用化を図れ…11P

「森山集会所」議長が降壇して登壇…13P

保育所を社協に委託…14P

高知県仁淀川町議会

TEL 0889 (35) 0111 / FAX (35) 0571 / 発行人: 議長 若藤敏久 / 編集: 議会だより特別委員会 / 印刷: 賀佐川印刷所

一 般 質 問

町民の目線に立った町政を

3月定例議会は、10日に招集され、会期を13日までの4日間とし12日は休会。

専決処分の報告3件、条例改正・補正予算等30件、新年度予算8件、人権擁護委員の推薦の人事案件1件を原案どおり可決。条例改正に修正動議が提出され修正された部分を可決、修正した部分を除く原案可決、意見書1件を提出し閉会した。



定額給付金

65歳以上には直接手渡しでは

答 忙しくて出来ない

問

西森常晴

65歳以上の町民には直接手渡しし、申請してもらっては。

答

町民課長

有効な手段とは思いますが給付金事務は、通常の業務に上積みされた余分な事務で、各集落へ出向くことは不可能だ。

問

西森

新聞報道によると、宮城・兵庫県では振り込め詐欺の標的となっている。3月1日の「高知新聞」では、鳥取県の2町ではすでに手渡しで、現金支給が行われている。給付内容は、早くから

分かっており、国会の議決待ちで、準備できる時間の余裕はあったはずだ。

答

副町長

行政は、住民の目線に立つて行うことは重要な。国の指導では、口座振込の指導があったようだ。金銭的トラブルも予測

問

西森

され、町としては基本的に郵送で申請書を送付し、振り込みたい。

答

副町長

出来るだけ、町民の要望に沿った対応をしたい。

65歳以上の高齢者の中には、申請書の内容を理解できない人もおり、2度も3度も、山から降りて申請手続きを強いるのは酷では。

町の職員数は、類似団体に比べて、30人は多い。





教育環境が抜群の正ノ石地区での保・小連携実践は地域の活性化につながると思うが。4月5日、スプリングコンサート（名野川小）

保・小連携

名野川で実践しては

答 慎重に対応したい

問 西 森

保・小連携は当り前の時代になってきた。

名野川保育所・小学校で実践できないか。

答 教育長

名小は、21年度から完全複式となる。空き教室もあり、スペースの上では連携は不可能ではない。保護者の意見も聞き、慎重に検討していく。

問 西 森

名野川保育所は、21年度は園児5人になる。国は少子化を憂いながら、保育所に入れないという矛盾した国策を行っている。

少なくとも今こそ、英断をもって、全国に誇れる、保・小連携のモデルを創ってはどうか。

答 教育長

慎重に検討したい。

臨時交付金

3億6000万円全額山へ投資しては

答 申請作業時間が短かった

問 西 森

年度末に、高知県には北海道に次ぐ高額の交付金が決定した。

算定基礎は、有効求人倍率が低い県に厚く交付される。

町には、3億6000万円が交付される。

中途半端に使うのではなく、全額山に投資し、環境保全、雇用の創出を図ってはどうか。

答 企画課長

3億6000万円は、申請作業時間が少なかつたため、計画中の熟度の高い事業を抽出し、前倒しで実施することにした。町道、林道の整備、ごみ収集場など7分野に予算化した。

問 西 森

森林への事業費の投入は、21年度から22年度に上積みされる予定の地域雇用創出推進費を充てる計画だ。

短い空間の中で人間は、「万物の霊長」とおごり、自然を破壊してきた。我々は、少しでもそれを償っていく責務がある。中津溪谷に、昔の水量を取り戻す施策はとれないか。

答 企画課長

事業実施は、所有者の理解が必要だ。出来るだけPRし、問伐を推進していきたい。



緑と清流を取り戻すことは、21世紀に生きる我々の使命だ（中津川）



本年1人が進学した追手前高校吾北分校（いの町）

問

橋本眞一

仁淀高校は募集停止になった。
追手前高校吾北分校も選択肢ではないか。
二十一年度から町内から通学する一年生には支援もあるが、吾北分校に

答

教育長

仁淀高校は二十三年度に廃校となる。
本年、佐川高校に14人、吾北分校には1人進学す



答

交通事情が良くなれば

吾北分校も選択肢では

通学する場合、特典もあるようだ。

る。交通事情が良くなれば分校の希望も増えると思う。

学区制撤廃で進学制度も変わる。

基礎学力

問

橋本

学力向上にどのように取り組むか。
進学時に慌てて勉強しても無理がある。低学年から基礎学力をつけることが重要でないか。

答

教育長

基礎学力を確実につける個性を伸ばして行く必要がある。

仁淀川町立中学校卒業者の進路

進路別 卒業年度		仁淀高校	佐川高校	追手前 吾北分校	その他県内 公立高校	その他県内 私立高校	県外の高校	高 専	その他	合計
仁淀中	18	9	1	—	10	—	1	—	1	22
	19	2	8	—	4	2	—	—	2	18
	20	—	2	—	8	3	1	4	—	18
吾川中	18	6	9	—	6	1	1	—	—	23
	19	2	5	—	7	—	—	—	—	14
	20	—	10	1	8	—	1	1	—	21
池川中	18	3	1	—	8	—	1	—	—	13
	19	3	4	—	10	1	1	1	—	20
	20	—	2	—	9	—	1	1	—	13
合計	18	18	11	—	24	1	3	—	1	58
	19	7	17	—	21	3	1	1	2	52
	20	—	14	1	25	3	3	6	—	52

問

橋本

中学生模擬
議会開催を

仁淀川町の取り組み、

答

副町長

社会の仕組みのルール

予算面などを中学生に認識してもらい、考え方を聞き模擬議会は開催できないか。

を体験、行政の仕組みを理解させ地域社会の在り方、町の将来を考えさせる良い機会となり、大変意義のあることだと思つ。実施に向け教育委員会とも協議していきたい。



学力向上を図れ

答 中学校に単元テストを導入

問 農本規仁

県の当初予算で、高知市の基礎学力向上の支援策が示された。町の学力向上施策は。

答 大野教育長

40%を占める高知市の中学校学習習慣確立緊急支援と、放課後学習支援員配置事業である。本町では、教職員の資質向上や自立心、キャリア教育を導入し、中学校で単元テストを導入。今年からは全小学校でも行う予定で、家庭教育基盤形成事業を取り入れたい。

問 農本

夜遅く中高生を見たら我が子、孫として声掛けができれば、子どもの居

場所ができ、注目されるから生徒はやる気ができる。これが地域の力であり地域の教育力の向上が重要と思うが。

答 教育長

教育は学校の中だけで成り立つものではないが地域の状況に差がある。中学校区という視点を重要視し、地域教育の関係者やPTAと勉強会を準備している。

問 農本

学校に関心を持つてもうためには、先生方が地域に飛び出していくことが先決では。

答 教育長

教職員が地域に打ち解けないと開かれた学校で

はない。今後も努力する。

消防団の強化

問 農本

自助共助の自主防災組織の設立状況と、再編も視野に入れた消防団の強化は。

答 総務課長

19組織、32%の世帯数。過疎高齢化、急峻な地形など組織化しにくい要素もあるが、早期100%を目指し取り組む。分団数、員数、機器材、エリアなど消防サービスを下下させないよう、消防団再編検討委員会を立ち上げ見直しをしていく。

問 農本

災害時要援護者の調査、台帳作りをしては。

答 総務課長

関係部所と協議し、地域の実態把握に努める。

子どもは宝

問 農本

スクールバスの民営化

答 教育長

バス運行について協議したが、出発地から受益者負担との考え方で、小学校、他町村との整合も図った。

町営住宅

問 農本

町営住宅について、国などに対して町の実情を理解してもらうなど取り組みは。

答 副町長

定住者を守り増やしていくことは重要ととらえ、住環境の整備に取り組んでいく。

問 農本

住宅に応募がないのは所得制限と家賃の壁があるためで、空き家、土地の調査など早い対応が必要と思うが。

答 副町長

遊休地は積極的に売却し、個人所有の売却可能な物件の情報収集、提供ができれば有効活用になる。情報の収集、発信をどうするか検討している。

※単元テスト

ひとまとめの学習した結果をふり振り返り確認するテスト



防災訓練では、炊き出しも実践された
20年8月31日、仁淀地区（森）



新入生（池中）

小中学校は、家庭学習や、指導の改善に取り組む必要がある。

答

教育長

知事は、教育危機への対応は、授業を変える、放課後を変えらと言っているが、具体的な町の取り組みは。

問

野村安夫



知事は授業を

放課後を変えらと言うが

答

教員の資質も問題

問

野村

答

教育長

本県の学力の低さは教育に携わる者の熱意・やる気、レベルの低さが取りざたされているが。

子供たちを取り巻く環境、教員の資質にも問題、課題がある。地元の文化や住民と接し、伝統を活かした、地元根付いた教育を求める。

439号の早期完成と 494号の拡幅工事の推進を

答

期成同盟会と一体で

問

野村

国道439号、大植工区や柳野工区の早期完成に向け、町の取り組みは。

答

副町長

国道439号は大植工区で、橋梁4箇所、トンネル3箇所を含む延長1900mの工事。21年度にはトンネル2箇所が残る。

柳野工区は、県が事業の見直し、コスト縮減を避けては通れない情勢で変更はあるが、早期完成に向け努力する。

問

野村

494号の拡幅工事の推進を。

答

副町長

国道494号は、残事業量が多いため、二車線



残事業量が多いため、2車線化が留保された国道494号（舟形）

化を保留し、局部改良を行い、通行の安全と利便性確保を最優先に考えた整備を行う。
期成同盟会等と一体となり、要望活動を根気強く続けていく。



残された課題は

答 集落活動の維持
産業の振興

問

藤原陽三

町長は十七年の合併を頂点に、財政の厳しい地方にあってその職務を全うした。この間の実績、残された課題、将来への展望を聞く。

新町の早期一体化と活性化を図る

答

町長

この22年間は激動の時代であり、バブル景気とその崩壊、三位一体の改革、合併と変貌する社会情勢の中、住民ニーズに対応すべく行動と実践を旨として施策を展開した。行政改革を推し進め、新町の早期一体化と活性化を図ることが最大の務めと考え、行政改革大綱を定め取り組んだ。安心、安全な暮らしの確保、過疎高齢化に伴い衰退しつつある集落活動の維持、地域産業の振興など多種多様な対策が必要になる。



吾川村長、仁淀川町長と22年間首長を務め、8月勇退予定の藤崎町長



今年は、桃の花が一際めだった（引地公園）

住民と行政の信頼関係を高め、協働で地域の持つ潜在能力を磨けば、持

続可能な地域づくりができる。

産業振興を図れ

答 支援交付金を設け対応

問

藤原

尾崎県政の予算が発表され、「産業振興計画」が重要視されている。町としても官民挙げて取り組む必要があるが、副町長の抱負を聞く。

答

副町長

知事は二十一年度を実行元年と位置付け、本格的に取り組む決意を示している。

仁淀川地域のアクションプランには、茶のブランド化、高糖度トマト産地の確立、間伐の推進、木材産業の振興、シキミ、サカキの販路拡大、フードプランを中心とした地域産業の活性化など関連する項目も多い。

町も事業の積極的な推進を図ると共に仁淀川町産業活性化支援交付金を設け、新たな取り組みなどを支援し、町産業の活性化を図って行きたい。